

一般質問通告書

令和7年 2月 19日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員 那須 英二

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	☒ 使用する ☐ 使用しない（どちらかにレ点を付ける） ※通告書提出後は、議長に許可を得ること（口頭可）。
-------	---

件 名	1.浸水を想定した防災意識の向上を
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	(1)40ヶ所の指定避難所のうち、海拔より低いところは34ヶ所、緊急避難場所は75ヶ所のうち68ヶ所。市長はこの現状をどのように捉えているか。 (2)尾張大橋の架け替えとその周辺堤防の強化の進捗は。 (3)弥富市の排水機的能力は、どの程度の雨量がくると耐えられなくなるか。（1時間あたり何ミリが何時間か） (4)南海トラフ地震3連動の地震になる可能性も考え、備える必要がある。市長はその状況の下で、弥富市における防災、浸水に対しての備えは十分か。。 (5)名古屋市では公共施設を海拔0.5m以上にするという方針を立てて、行っている。弥富市でも行う考えは。 (6)よつば小学校の設計を大胆に計画変更し、海拔ゼロ以上になるように嵩上げすべき。大きく嵩上げできない理由は、既存校舎を残す事にこだわっているから。 令和10年から7年後には、1クラスになるなら、既存校舎へのこだわりは捨てて、設計を考え直しては。

	(7) 前回、学校・保育所における、1階床面になると標高は。 (8) 各体育館もお答え下さい。 (9) 今後、学校や保育所、体育館の建て替えの際には、海拔ゼロ以上、プラスにする事を方針にしては。 (10) 学校や保育所で浸水し、孤立した場合の想定をし、緊急防災パックについて、ぜひ前向きに考えていただきたいがどうか。 (11) 今では、防災備品、非常食などもかなりコンパクトで場所を取らないものも多数。(物品紹介) こうしたものを取り入れて、弥富市が真に災害に強いまち、常に備えられているまちとして、市民に誇れるような姿勢をもっていきたいが、市長の姿勢は。
答 弁 者	市長、担当部課長

件 名	2.土曜日午後保育、給食費無償化など、子育てするなら弥富市を取り戻すために
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	(1) 市長は施政方針で、どのような思いで『子育てするなら弥富市で』から『こどもの未来をはぐくむまち弥富』『こどもまんなか社会』と新フレーズを掲げたのか。 (2) こども家庭センターとは、どのようなものか。 (3) 土曜日午後保育が、なぜ、急に方向転換し、南部保育所のみになったのか。 (4) 南部保育所の土曜日1日預かりは、普段、他の保育所に通っていても土曜日だけ預ける事は可能か。 (5) なぜ、預けられないのか。 (6) 今から南部保育所に希望を出したとして、受け入れ可能か。

	(7)今後、どの保育所でも、土曜日午後も預けられるようにしていく方針か。 (8)なぜ行おうとしないのか。 (9)ひので保育所の民営化により、何名の保育士が市の保育士として残るか。 (10)保育士不足が深刻だと思うが、まずは離職を抑えるため、一度、無記名での職場アンケートを行い、環境改善につなげるべきだと思うがどうか。 (11) 前回、議会で弥富市の子育て支援に不足している所を尋ねたら、不足していないと答弁が返ってきた。今でもその認識は変わっていないか。 (12) 弥富市は給食費無償化を行わないのか。 (13) 食材が急激な物価高騰のため、今の食材費ではかなり苦しいと思われる。弥富市が負担し、給食の質、量を下げないようにしていく必要があると思うがいかがか。 (14) 廃校後の跡地利用について、市は積極的に他の自治体に視察を行って欲しいと思うが、視察の予定は。 (15) 市長の目指すこれからの弥富市についての展望を。
答 弁 者	市長、担当部課長